

日本看護倫理学会 第19回年次大会

モラルレジリエンス

道徳的苦悩とともに成長するために

2026年6月20日(土)・21日(日)

くにびきメッセ(島根県立産業交流会館)

島根県松江市学園南1-2-1

大会長：中村充浩（東京有明医療大学）

副大会長：高橋梢子（島根県立大学）

事務局長：松田順（静岡県立大学）

実行委員長：日野雅洋（島根県立大学）



Image generated using ChatGPT (DALL-E), OpenAI

メインプログラム

大会長講演

道徳的苦悩とモラルレジリエンス

中村充浩（東京有明医療大学看護学部）

基調講演

モラルレジリエンス

— 臨床実践と研究成果を通して得られた示唆 —

Cynda Hylton Rushton

(Berman Institute of Bioethics, Johns Hopkins University)

通訳：宮内信治（大分県立看護科学大学看護学部）

特別講演

利他の倫理

ウィリアムソン彰子

教育講演

患者からの暴力・ハラスメントを倫理的側面から考える

— 看護師がいきいき働くために —

三木明子（関西医科大学看護学部）

シンポジウム

他職種からみた「よい看護師」はどんな看護師？

宮地純一郎（名古屋大学大学院医学系研究科附属総合医学教育センター）

水嶋久美子（おかにし内科 糖尿病・甲状腺クリニック）

小松正彦（伊東市民病院医療技術部リハビリテーション室）

シンポジウム

語られにくい声に寄り添うこと

— コミュニティナースの実践例から —

多々納知鶴（株式会社CNC）

パネルディスカッション

私たちの臨床実習での道徳的苦悩

中松彩夏（九州中央病院）

田村陽子（島根県立こころの医療センター）

市民公開講座

「うちげでいきたい」在宅看取りを考える

孫大輔（鳥取大学医学部地域医療学講座）

*メインプログラムは変更となる可能性があります

演題登録期間

2025年12月10日(水)～2026年2月12日(木)正午

参加登録期間

2026年3月2日(月)～2026年7月30日(木)

参加費

会員・・・11,000円 非会員・・・13,000円 学生・・・1,000円

*2026年5月28日までの事前登録は1,000円割引となります（学生を除く）

*演者より許諾が得られたメインプログラムと口演は、期間限定で後日オンデマンド配信予定です。ライブ配信はありません

【日本看護倫理学会 第19回年次大会事務局】

〒135-0063 東京都江東区有明2-9-1 東京有明医療大学 看護学部 中村研究室内 E-mail: jnea19th@gmail.com

